



下野の国押切村森田半之丞
の家へ去る九八日の夜入の盗賊

白刃をこらへて押入が
半之丞も養子に眼を覺

あゝ其盗賊半といふ事んと
強氣の親子が力をつくせと
賊の刃のを持し思ひきつ事
の
をいふごとく思折し娘のおつら
てアアと持て走り出のくくく
手鏡を持て走り出のくくく
小立のい謝夫よのあまきを助けて
せんぞく賊といけど早く速
ノ官其功を賞せよば褒美を
りしを
篠木主人筆

新聞圖會

第九号



八尾善友